



田村山古墳糠塚、ほたて貝式前方後円墳

墳出土品として、

昭和二十八年十月

一日付指定し、保

存は当部落の区長

となっている。そ

の後大塚山発掘調

査が行なわれて、

その対比研究にも

貴重な資料となる

わけである。

この田村山古墳

は全長が二四・八

メートルあるが、前方が大変短かく、後円部径との比は

一対〇・二四に過ぎないので、丁度帆立貝に似た前方後

円墳をなしている。

この古墳構築の時代であるが、畿内より東北地方へ移してきて、古いもので四〇〇年代から五〇〇年代、ずっと新しければ、奈良朝初期まで下って、今より一二五〇

会津田村山古墳実測図

昭和33. 5. 6  
福島県文化財専門委員 山口第一郎 測量

福島県北会津郡北会津村田村山字塚ノ腰

